

プラズマ科学シンポジウム 2009/第 26 回プラズマプロセッシング研究会 (PSS-2009/SPP-26) 開催案内

主催：日本学術振興会プラズマ材料科学第 153 委員会、応用物理学会、プラズマ・核融合学会

共催：日本物理学会、電気学会、放電学会、電子情報通信学会、日本真空協会、電気化学会、
日本化学会、表面技術協会、日本セラミックス協会、静電気学会、原子衝突研究協会、
日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本航空宇宙学会、日本オゾン協会、
地球電磁気・地球惑星圏学会、IEEE Japan Council NPS-Plasma

協賛：超先端電子技術開発機構 (ASET)、核融合科学研究所、日本原子力機構那珂研究所、
核融合エネルギーフォーラム、高分子学会、核融合科学研究所、名古屋大学プラズマナノ工学研
究センター、極端紫外線露光システム技術開発機構 (EUVA)

関係するプラズマ研究組織：応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会、
日本物理学会領域 2、PDP 技術討論会、電気学会 A 部門プラズマ技術委員会・
パルス電磁エネルギー技術委員会・放電技術委員会、表面技術協会材料機能ドライ
プロセス部会・プラズマ触媒科学部会、フォトポリマー懇談会、
核融合ネットワーク

開催日：2009 年 2 月 2 日 (月) から 4 日 (水)

会場：名古屋大学 豊田講堂・シンポジオン
〒464-8603 名古屋市千種区不老町

参加費： プロシーディング代を含む

	主催・共催・協賛・関係する研究組織の学協会会員	その他
一般	15,000 円	20,000 円
学生	3,000 円	7,000 円

但し、事前参加申込み締切日以降は、一般 3,000 円増、学生 1,000 円増

総合講演

「プラズマを斬る」 葛谷 昌之 (松山大学)

指定テーマ講演

- 「人工媒質中のマイクロプラズマの生成と応用」 橘 邦英 (京都大学)
- 「環境・エネルギー関連の施設とプラズマ技術」 浦島 邦子 (文部科学省 科学技術政策研究所)
- 「プラズマによる超高精度微細加工への挑戦」 藤原 伸夫 (ルネサステクノロジ)
- 「ITER 計画と幅広いアプローチ計画の現状と展望」 松田慎三郎 (日本原子力研究開発機構)
- 「核燃焼プラズマのための先進計測」 笹尾 真実子 (東北大学)
- 「太陽系を実験室とする宇宙プラズマ『その場』観測」 藤本 正樹 (JAXA 宇宙科学研究本部)

参加・講演申込み締切：2008 年 11 月 4 日 (火)

プロシディング論文締切：2008 年 12 月 15 日 (月) 必着 (英文 A4 版 2 ページ)

事前参加申込み締切 : 2009 年 1 月 9 日 (金)

講演および参加申込については、web による申し込みを受け付けます
詳細は以下のホームページをご覧ください

<http://plasma.esi.nagoya-u.ac.jp/jsps153/PSS2009/index.html>

問合わせ先 : PSS-2009/SPP-26 事務局担当

井上泰志 (名古屋大学 エコトピア科学研究所)

TEL : 052-789-5941, E-mail: inoue@numse.nagoya-u.ac.jp

節原裕一 (大阪大学 接合科学研究所)

TEL: 06-6879-8641, E-mail: setsuhara@jwri.osaka-u.jp